

2022年3月14日 第1回JMC海事振興セミナー

海上コンテナ荷動きと市況の動向

－2020年以降を中心に－

(公財) 日本海事センター 企画研究部研究員 後藤洋政

はじめに

- 海上コンテナ輸送は、世界の貿易において重要な役割を果たしている
- コロナ禍により、海上コンテナ輸送をとりまく環境や置かれている状況は大きく変動している
- 当センターで公表している資料等から20年以降を中心に荷動きと市況の動向を説明する

世界の主要航路

- 北米航路

- アジア⇔北米西岸
- アジア⇔北米東岸
 - パナマ運河経由
 - マラッカ海峡→スエズ運河→大西洋経由
 - 西岸で鉄道・トラックに積み替えるルートも

- 欧州航路

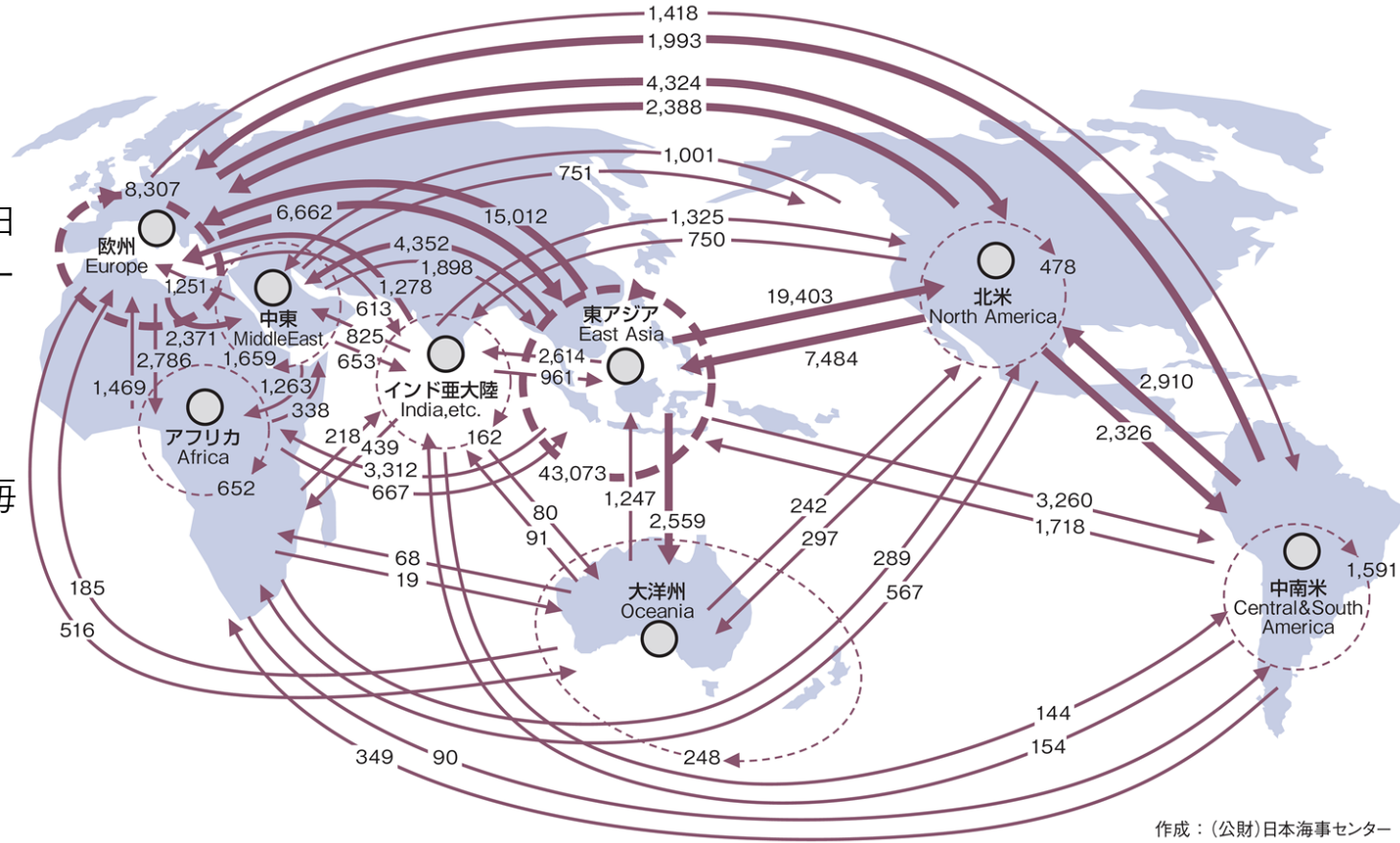
- アジア⇔スエズ運河⇔地中海⇔北欧
 - ランドブリッジも近年発達しているが海運が主流

- アジア域内航路(中国・ASEAN間の荷動き大)

- 極東ロシアからASEANの域内で航行
 - 世界で最も荷動き量が多い
 - 航海距離が短い

World Container Estimated Movement in 2020 Total:164,011,760 TEU 前年比0.1%減

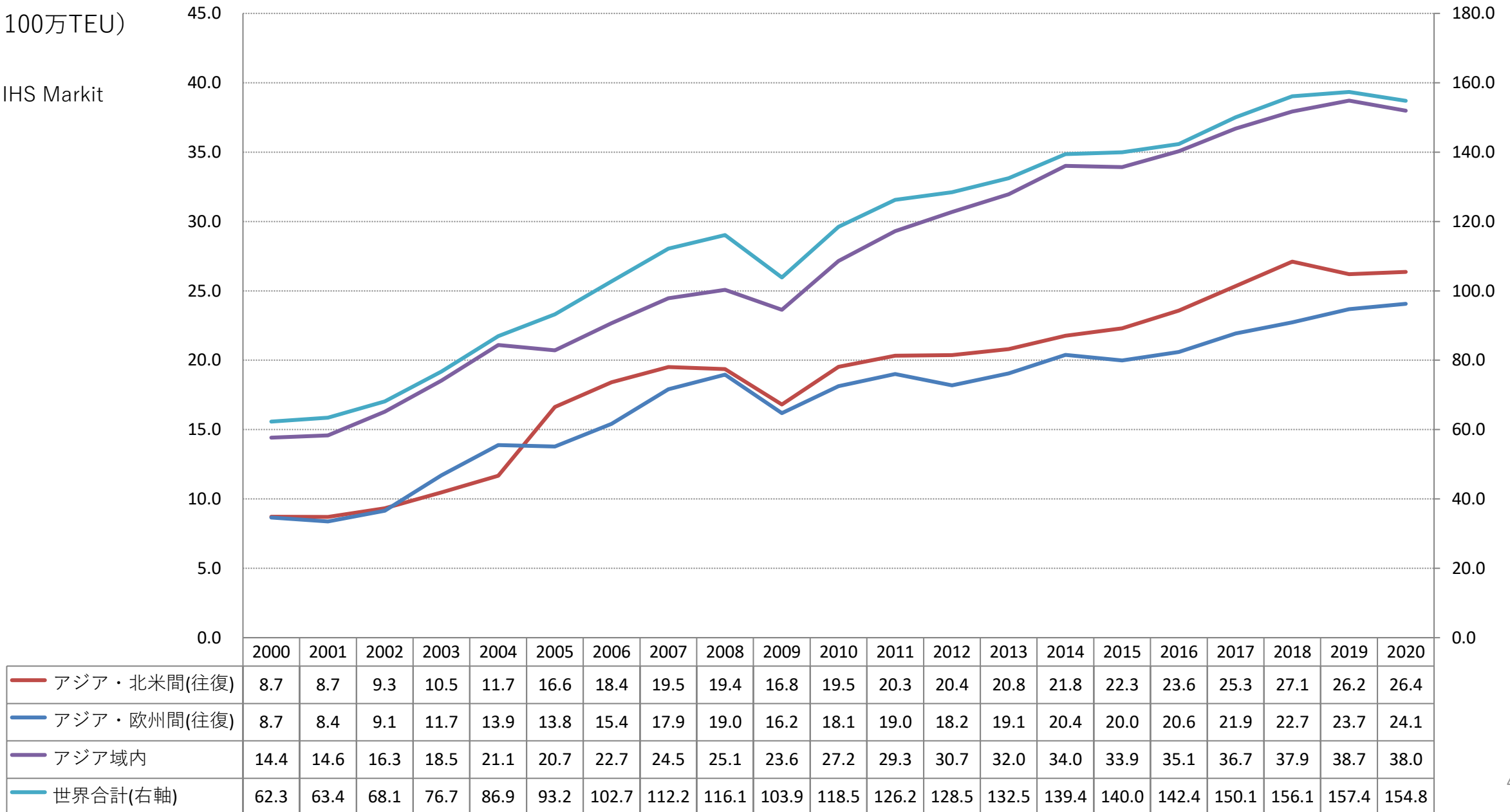
単位:千TEU



近年の主要航路の動向

(単位：100万TEU)

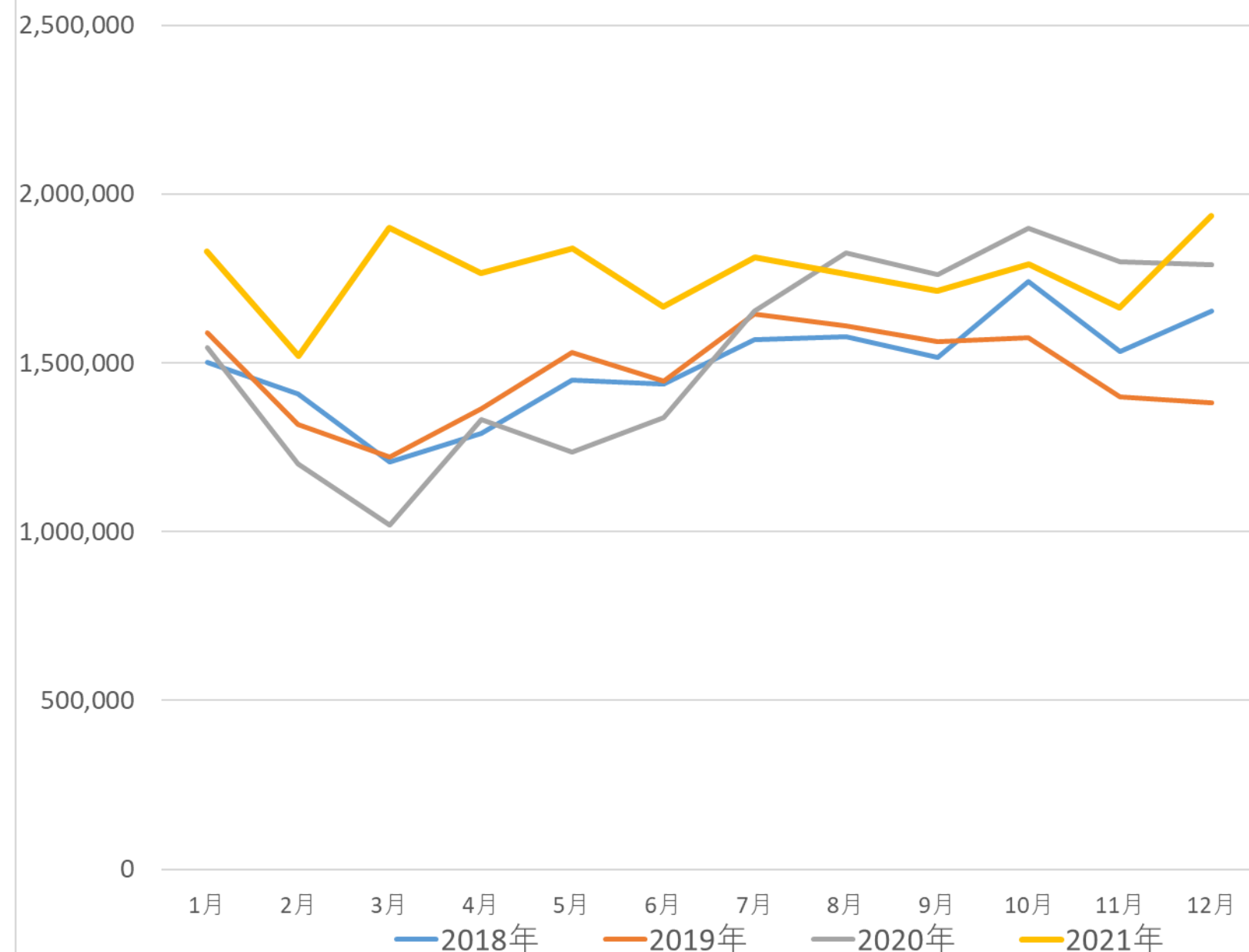
出所：IHS Markit



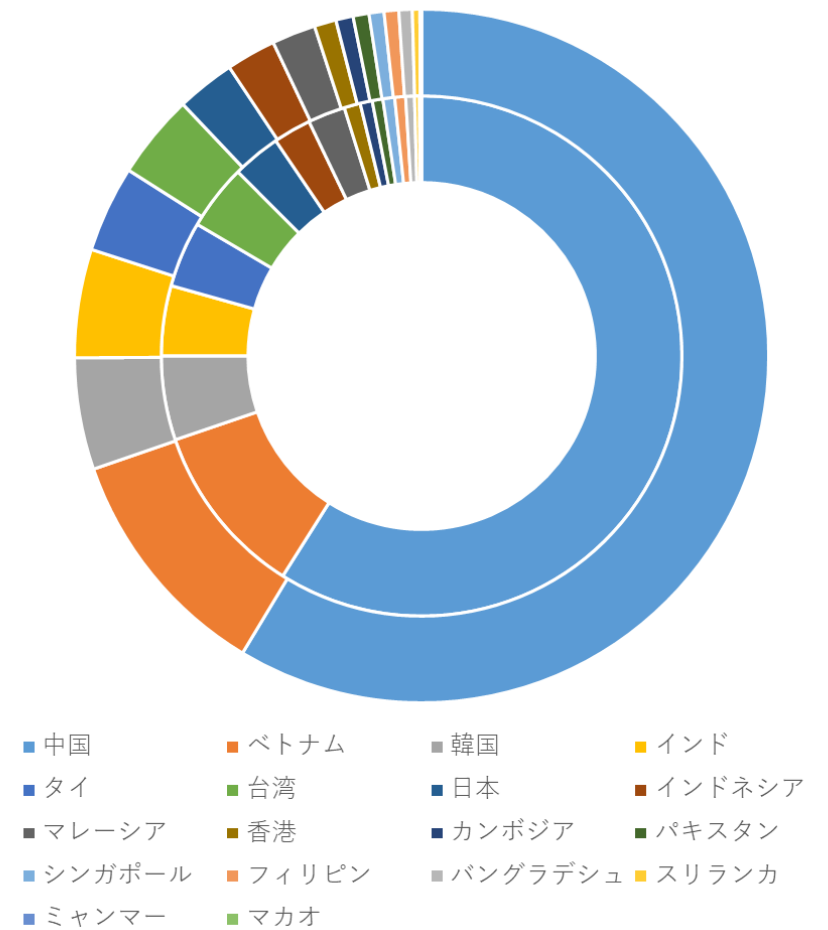
北米航路

- PIERS(Port of Import/Export Reporting Service) データをもとに、『日本・アジア／米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表
- 対象となるのは、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオ
ASEAN のうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの 8 ヶ国
南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの 4 ヶ国、合計18ヶ国・地域

アジア→米国 月別荷動き量



2020年, 2021年 国・地域別発地構成比（北米往航）



主要品目

「家具・寝具」

「衣類」

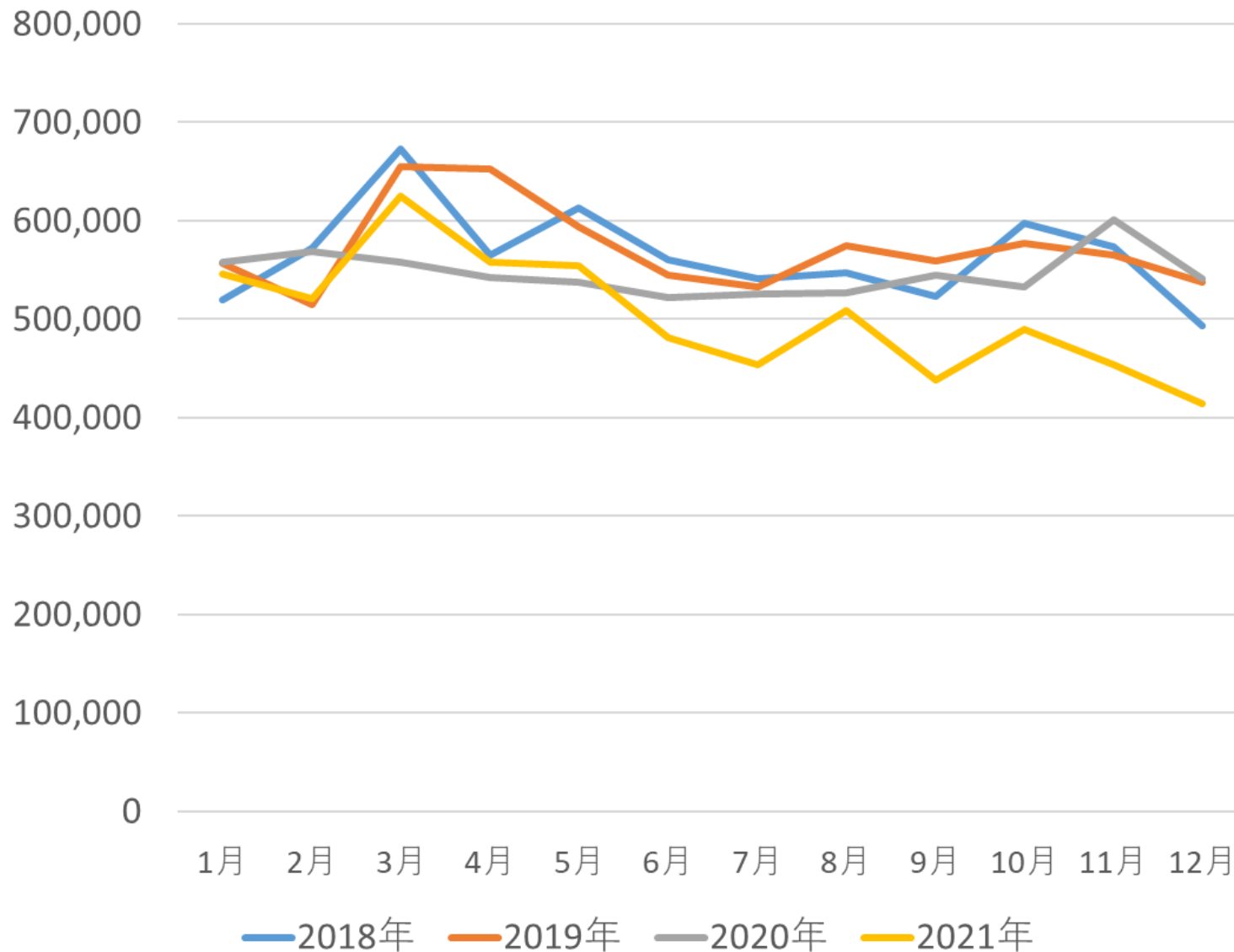
「電気機器、AV機器など」

「プラスチック製品」

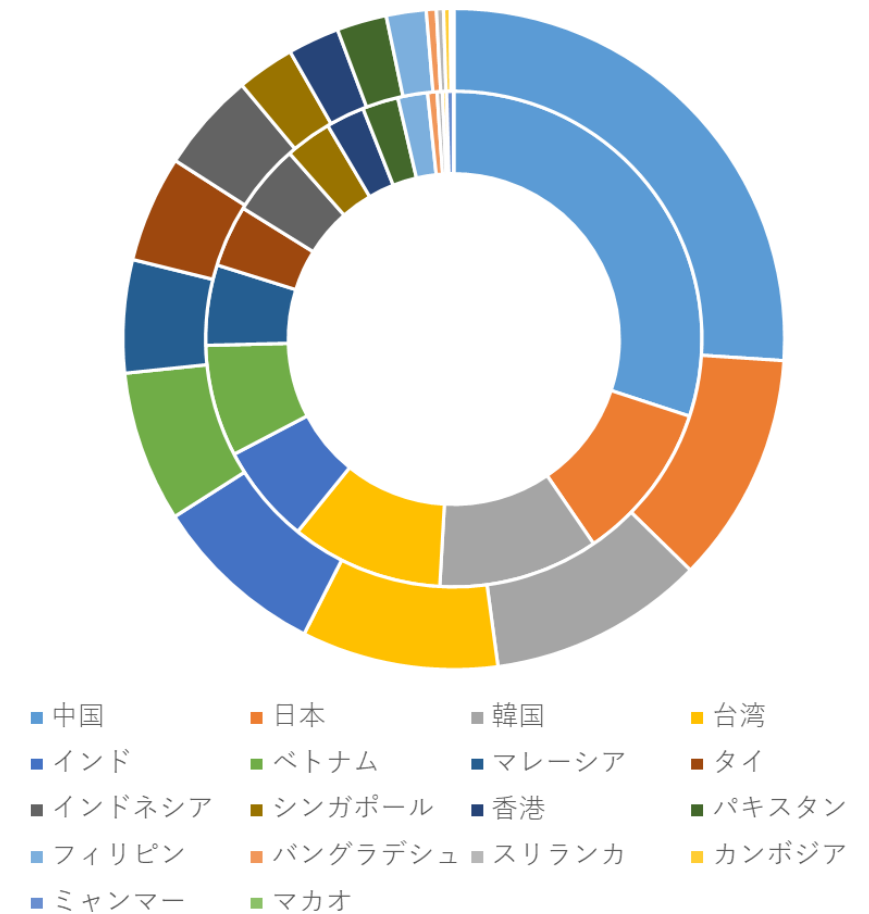
「自動車部品」

「玩具、遊戯用具、スポーツ用品」

米国→アジア 月別荷動き量



2020, 2021年 国・地域別着地構成比（北米復航）



主要品目

「木材パルプ、古紙、板紙」
「動物用飼料」
「繊維類」
「プラスチック」
「木材」
「肉類、野菜、果物など」

欧州航路

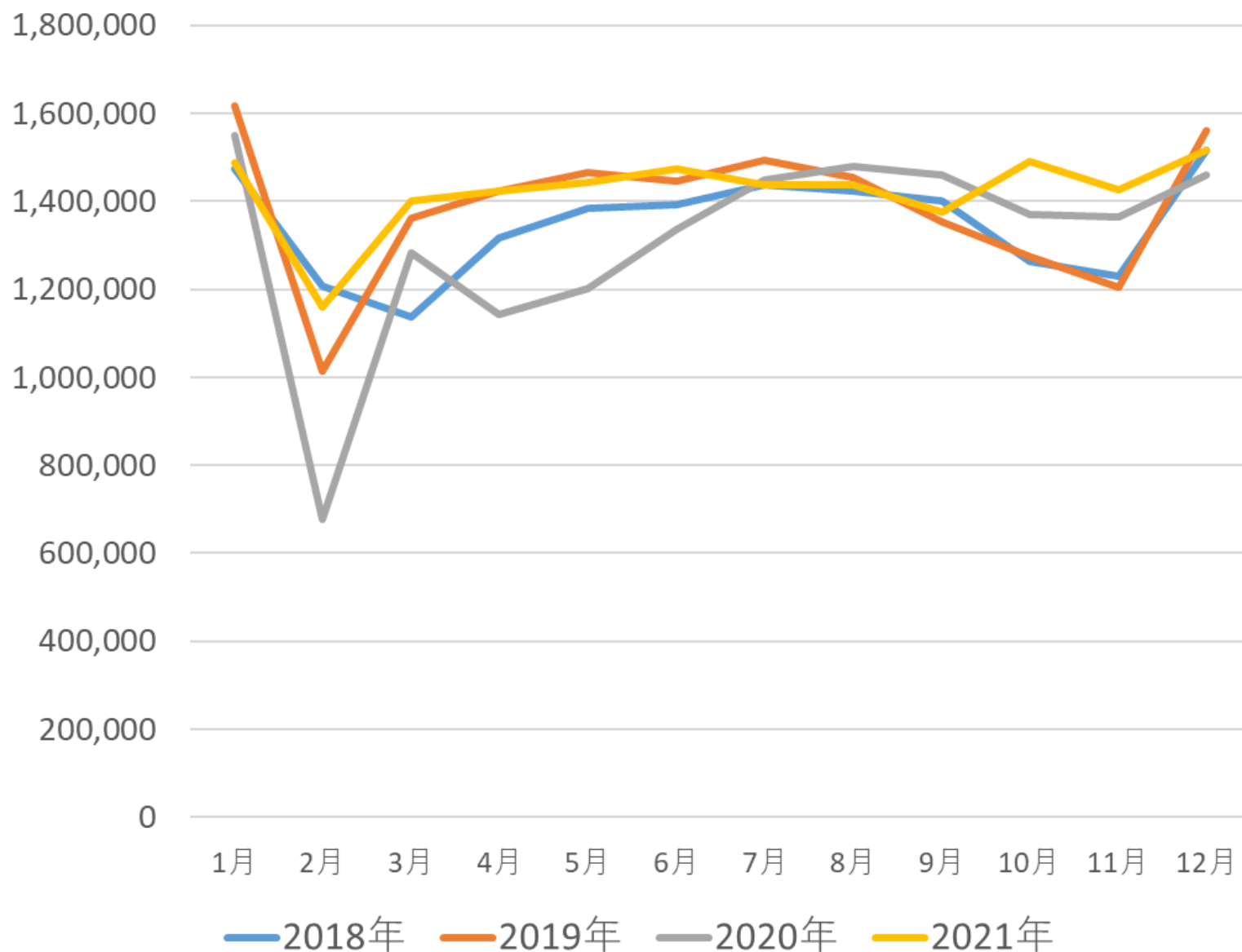
- Container Trades Statistics Ltd (CTS)発表のデータをもとに、『日本・アジア／欧州間（欧州航路）のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表

- 上記データにおける同航路の範囲

欧州側がスエズ運河を越えて地中海からバルト三国、欧州側ロシアまでの54か国・地域

アジア側がミャンマーから極東ロシアまでの16か国・地域

アジア→欧州 月別荷動き量



2021年地域別発地構成比（欧州往航）

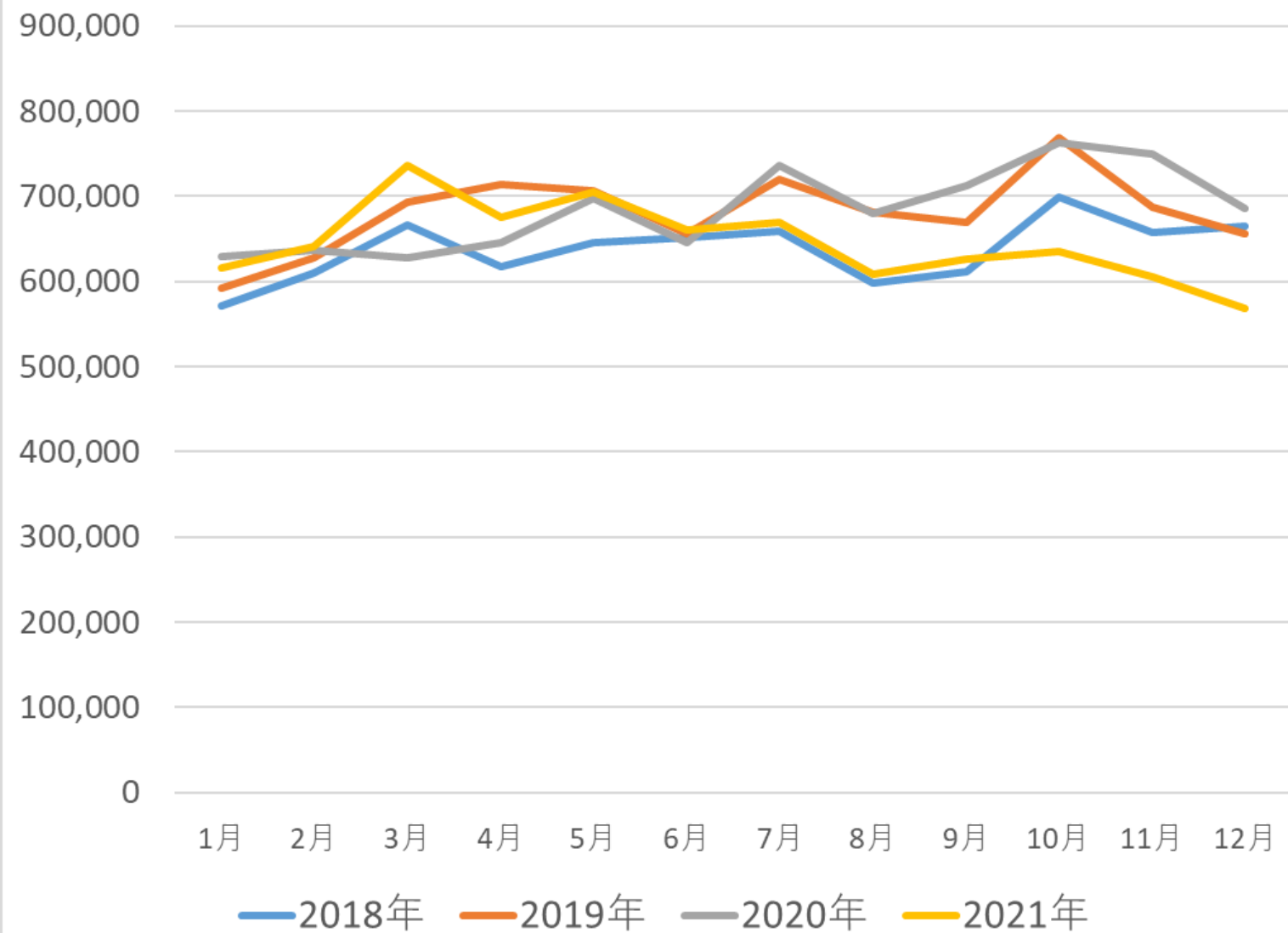
アジア 合計	17,069,328
北東アジア 計	1,880,590
中華地域 計	12,907,109
東南アジア 計	2,281,624

* 22年2月時点の速報値

主要品目（EU・中国間）

- 「機械類」
- 「電気機器、AV機器など」
- 「家具、寝具など」
- 「鉄鋼製品」
- 「繊維類およびその製品」
- 「プラスチック及びその製品」
- 「玩具、遊戯用具、スポーツ用品」

欧州→アジア 月別荷動き量



2021年地域別着地構成比（欧州復航）

アジア 合計	7,746,582
北東アジア 計	1,658,751
中華地域 計	4,229,224
東南アジア 計	1,858,068

* 22年2月時点の速報値

主要品目（EU・中国間）

「木材」

「野菜、穀物、果実など」

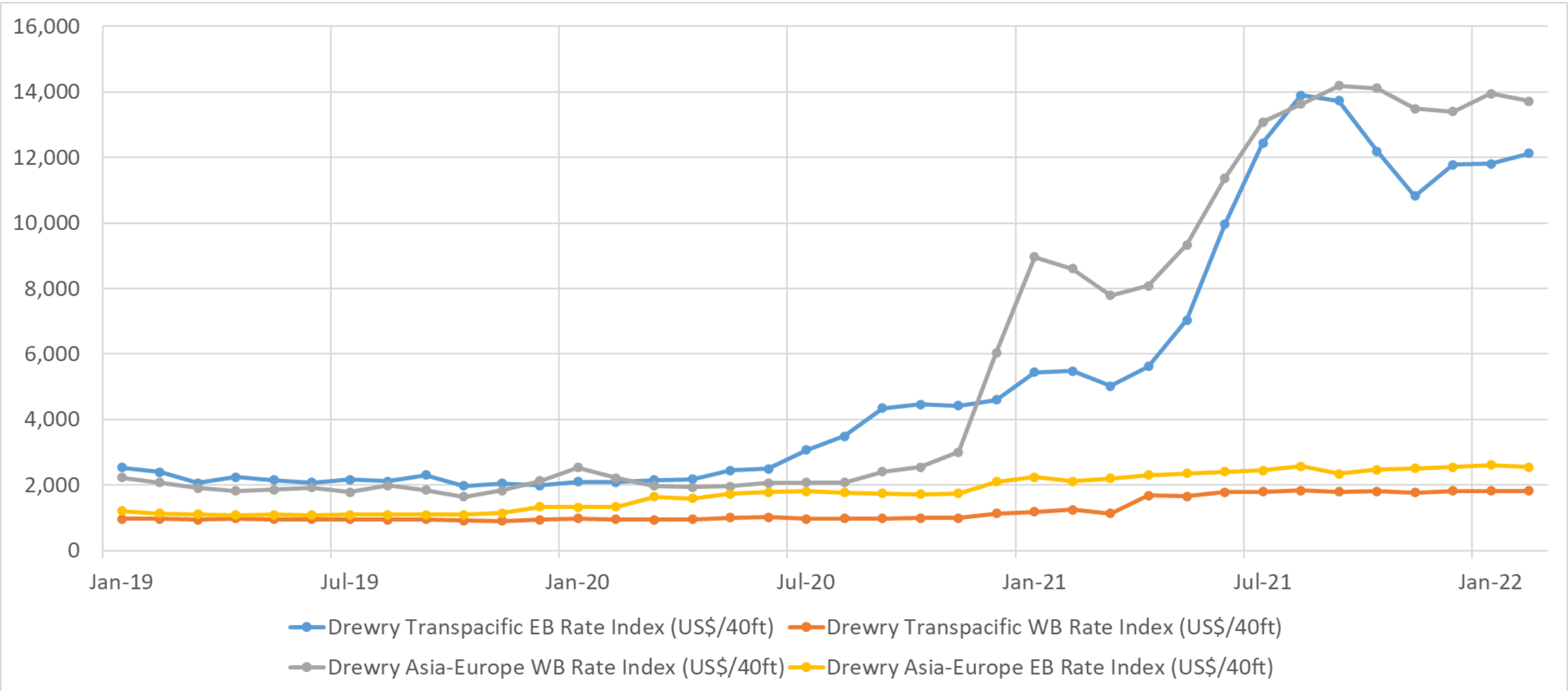
「肉類、酪農品、魚介類など」

「木材パルプ、古紙、板紙など」

「プラスチック」

「調製食料品、飲料など」

北米航路・欧州航路 海上コンテナ運賃推移 (2019.1-2022.2)

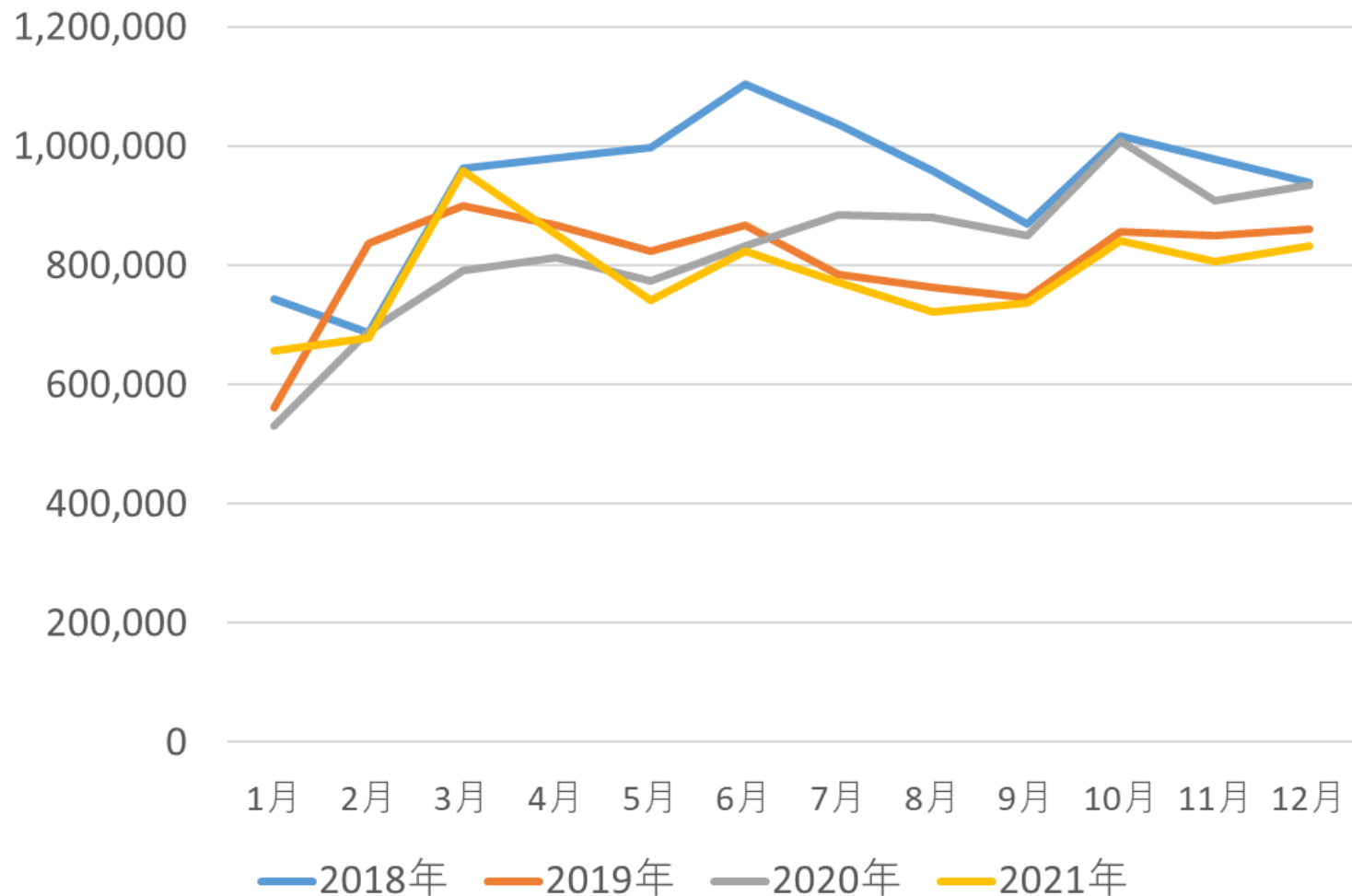


出所：Drewry “Container Freight Rate Insight” * スポットレート

日中航路

- 財務省貿易統計をもとに海上コンテナ貨物の輸送重量（推計値）と金額を毎月発表

日本→中国 月別荷動き量（トン）



主要品目

「プラスチック及びその製品」

(HS : 39類)

「機械類」(HS : 84類)

「木材パルプ・古紙・板紙など」

(HS : 47-49類)

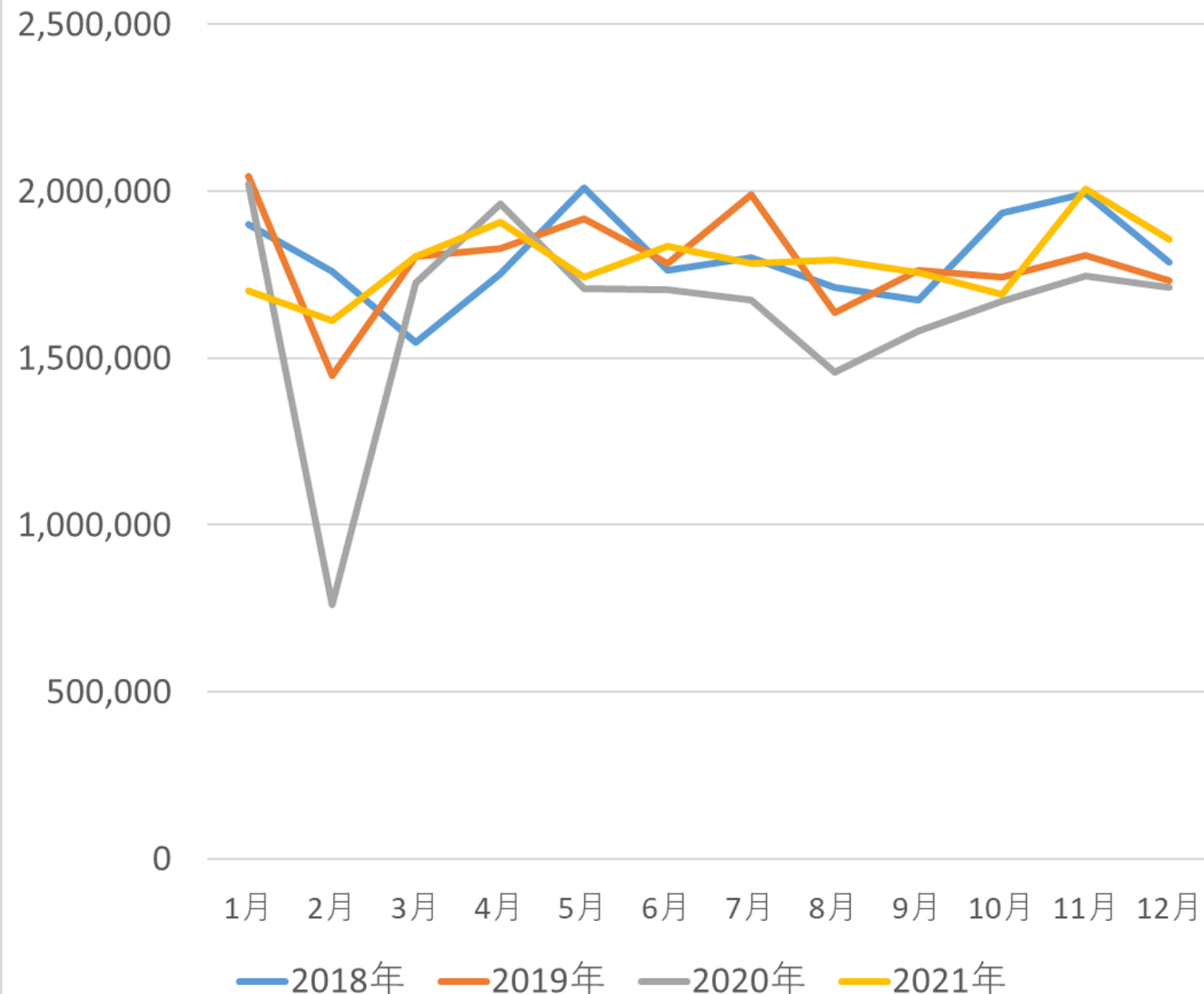
重量シェアは、それぞれ約20%, 10%, 10%
(2021年)

金額ベース 2021年 計9.6兆円

「機械類」(HS : 84類) 2.7兆円

「電気機器、AV機器など」(HS:85類) 1.0兆円

中国→日本 月別荷動き量（トン）



主要品目

- 「機械類」(HS : 84類)
- 「野菜、穀物、果実、採油用種子、茶など」(HS : 6-14類)
- 「繊維類およびその製品」(HS : 50-63類)
- 「調製食料品、飲料、アルコールなど」(HS : 16-24類)
- 「鉄鋼製品」(HS : 73類)
- 「プラスチックおよびその製品」(HS : 39類)
- 「家具、寝具など」(HS : 94類)

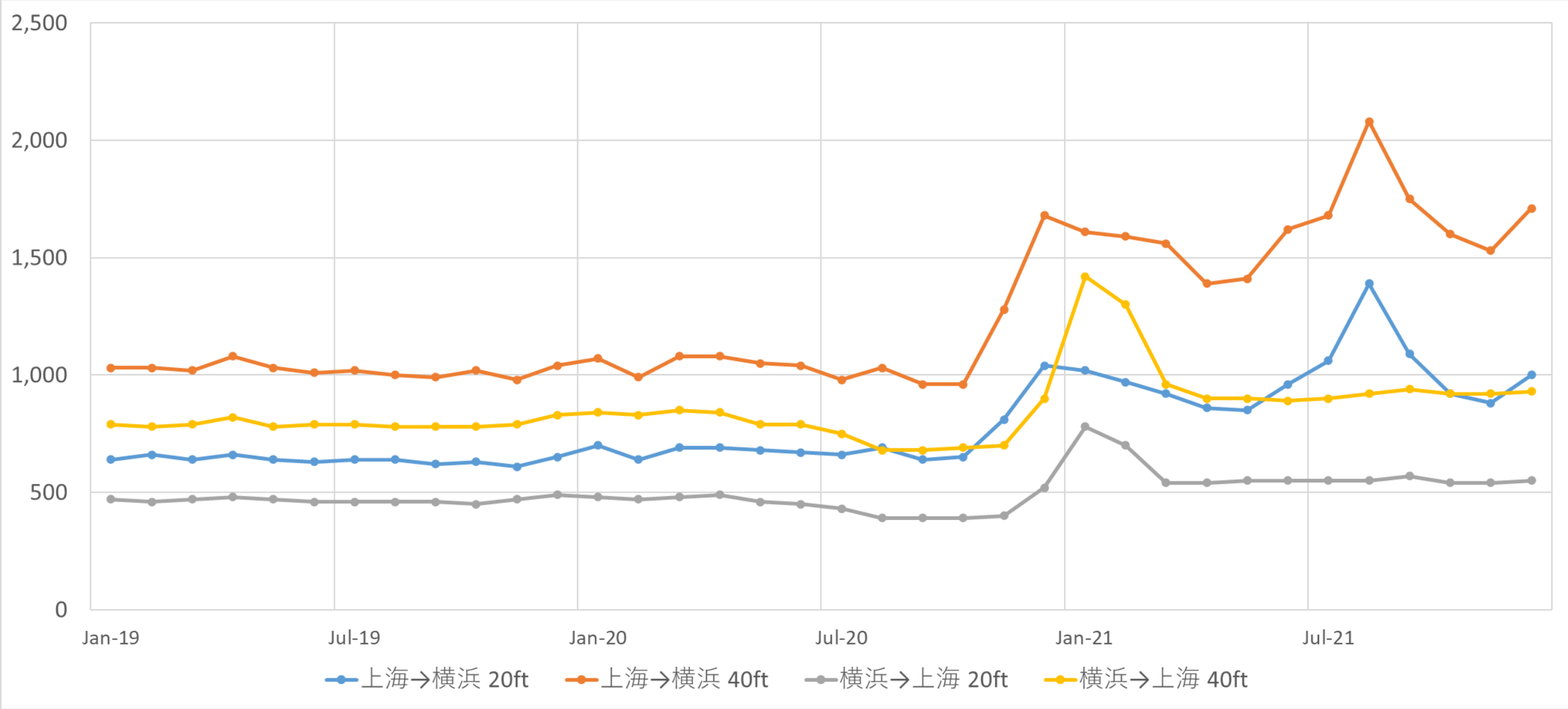
金額ベース 2021年 計14.1兆円

- 「電気機器、AV機器など」(HS:85類) 2.6兆円
- 「機械類」(HS : 84類)
- 「繊維類およびその製品」(HS : 50-63類)

日本から中国への輸出(2021年)
約942万トン 9兆5785億円

中国から日本の輸入(2021年)
約2,149万トン 14兆589億円

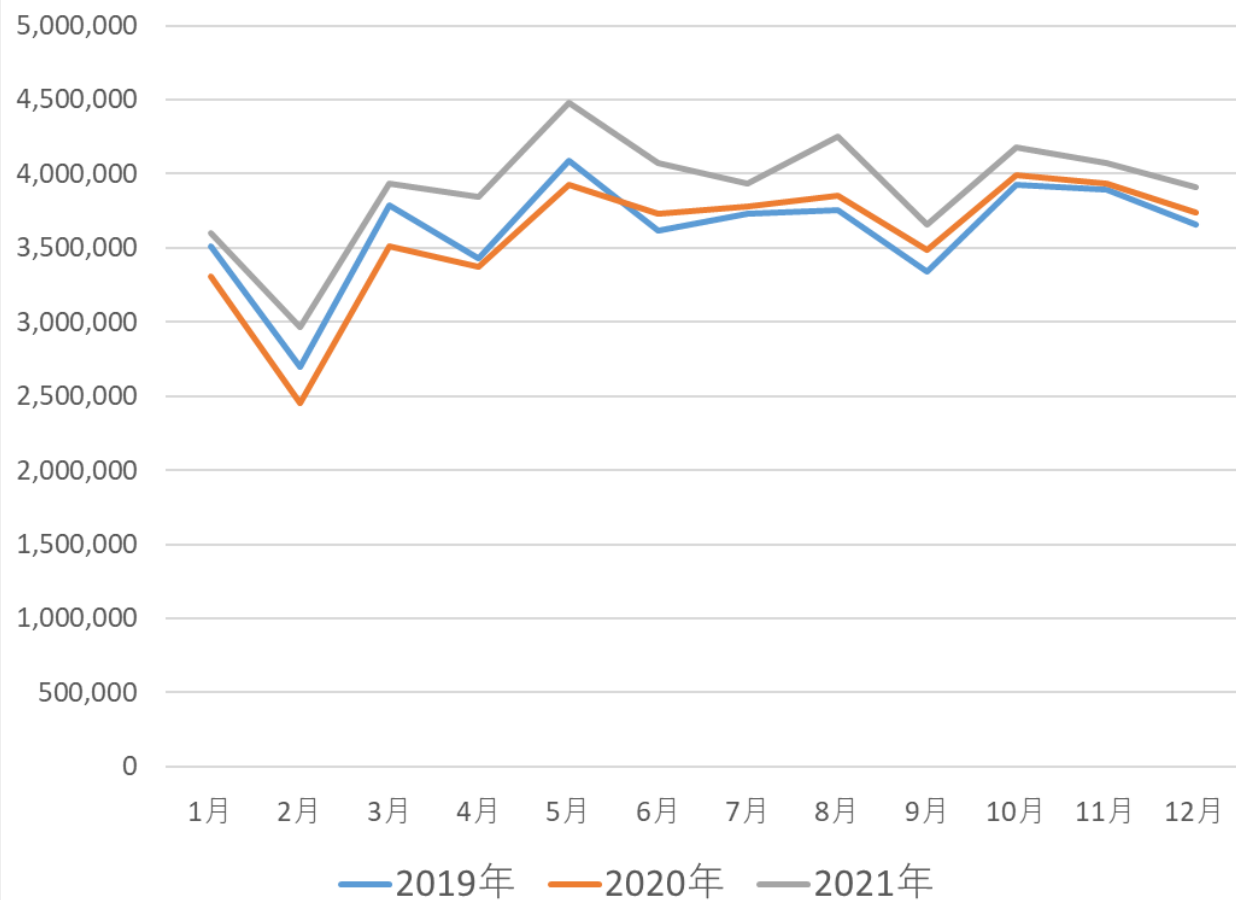
上海・横浜間の海上コンテナ運賃の推移（2019.1-2022.2）



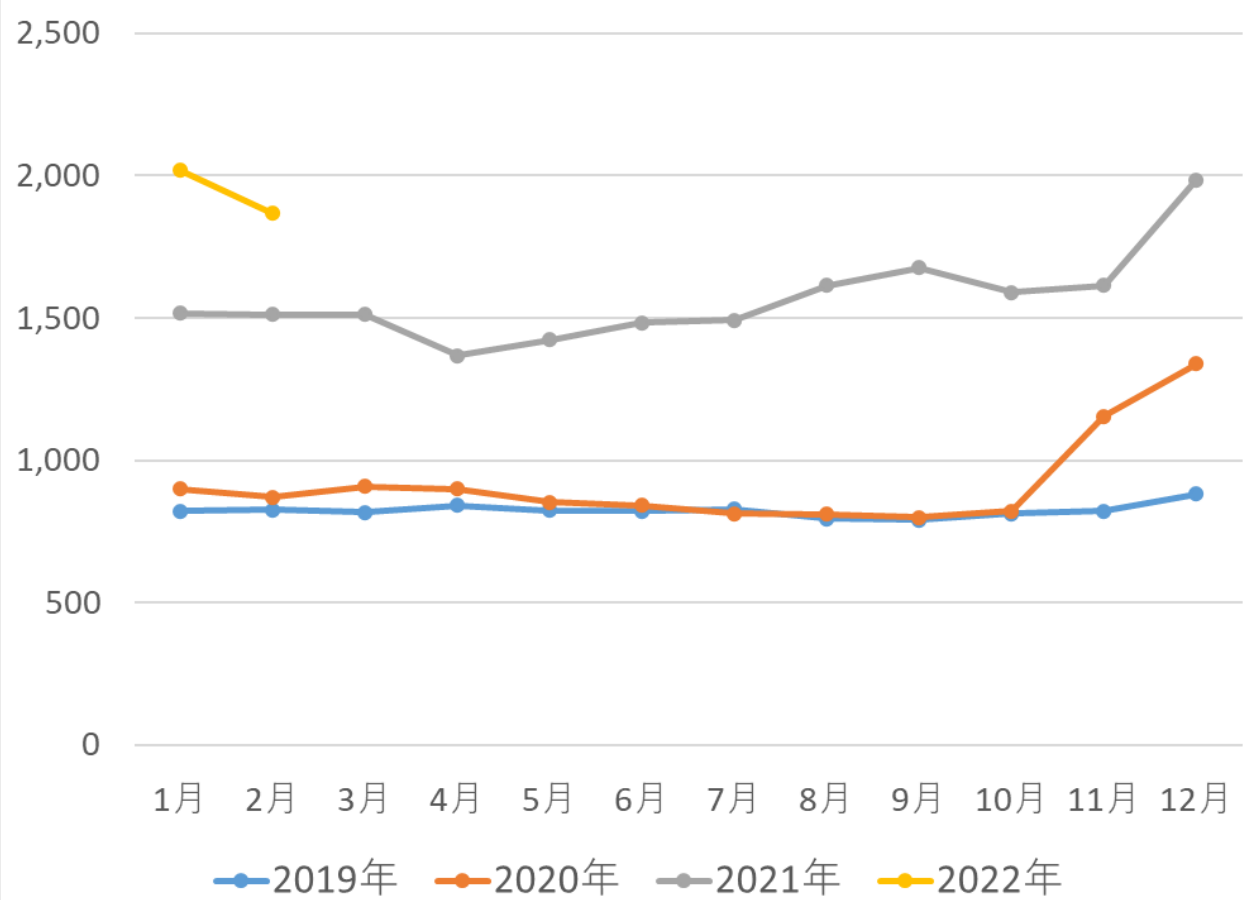
出所：Drewry “Container Freight Rate Insight” * スポットレート

アジア域内航路

アジア域内航路 月別荷動き量



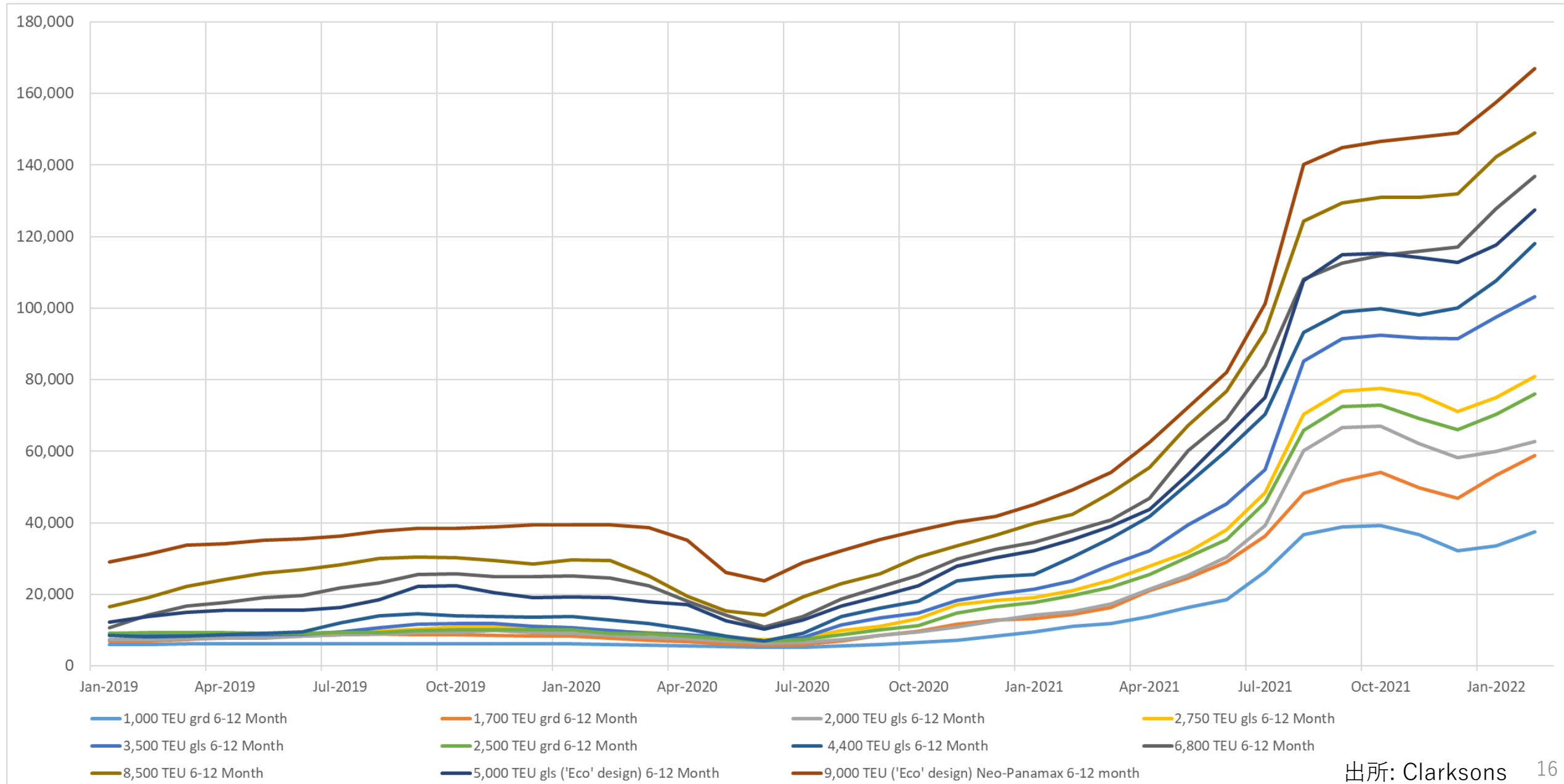
アジア域内航路 コンテナ運賃指数 (USドル/40ft)



出所：CTS

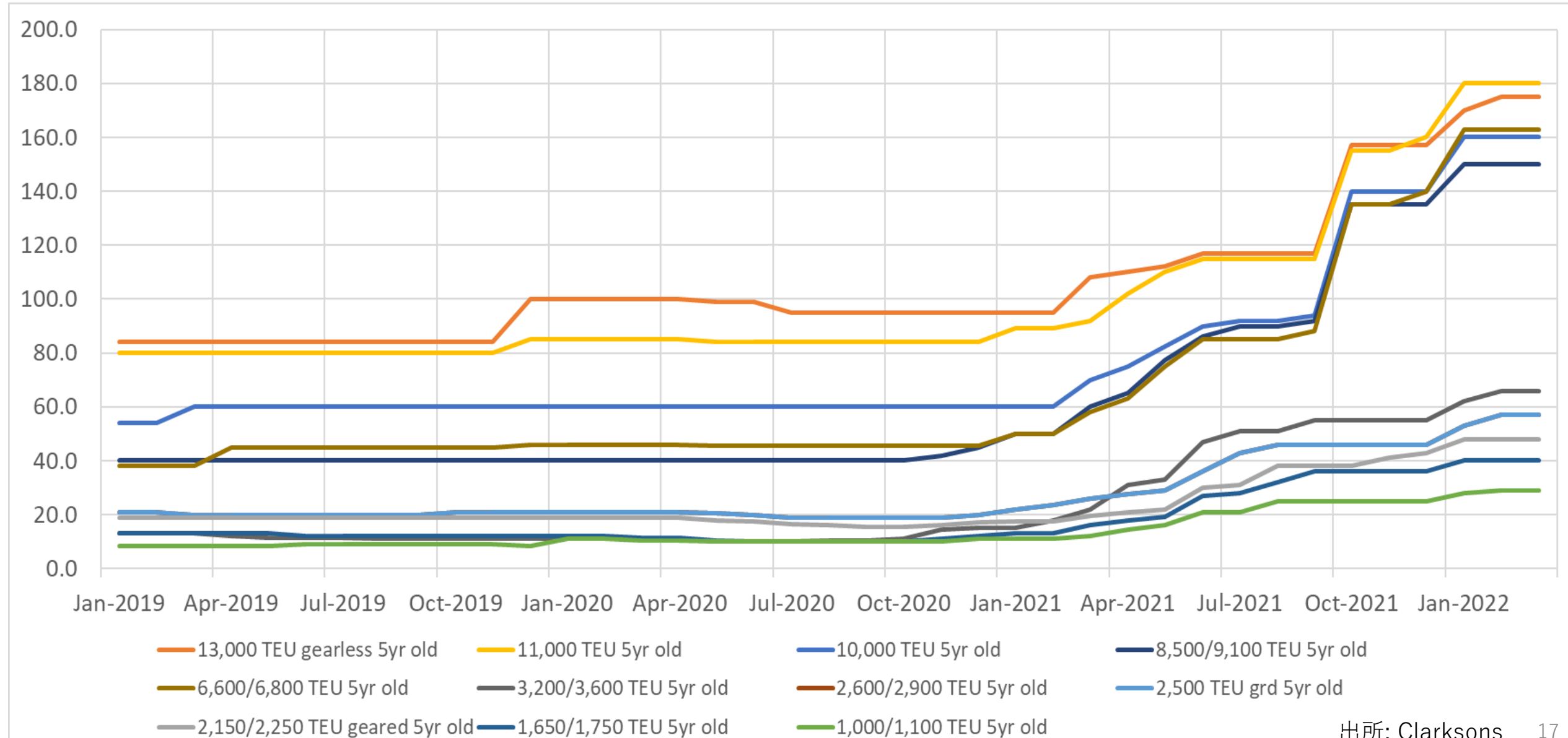
出所：Drewry “Container Freight Rate Insight”
* スポットレート

コンテナ船傭船料の推移 ドル/日 2019.1~2022.2



中古コンテナ船価格の推移

100万ドル 2019.1~2022.3



参考 - 2020年

2020年	北米往航		北米復航		欧州往航		欧州復航		日中往航		日中復航		アジア域内	
1月	1,544,992	▲ 2.9	557,315	0.1	1,549,674	▲ 4.1	629,848	6.5	530,644	▲ 5.5	2,022,167	▲ 1.1	3,310,858	▲ 5.8
2月	1,200,865	▲ 8.8	568,959	10.6	676,197	▲ 33.2	635,948	1.3	689,214	▲ 17.6	761,661	▲ 47.4	2,451,121	▲ 9.0
3月	1,019,049	▲ 16.5	557,769	▲ 14.8	1,283,436	▲ 5.7	628,456	▲ 9.2	792,378	▲ 12.0	1,723,852	▲ 4.5	3,508,014	▲ 7.5
4月	1,333,177	▲ 2.3	542,224	▲ 16.9	1,143,383	▲ 19.6	645,783	▲ 9.6	813,619	▲ 6.2	1,963,258	7.4	3,369,978	▲ 1.8
5月	1,236,385	▲ 19.2	537,102	▲ 9.6	1,201,918	▲ 18.0	696,843	▲ 1.3	774,371	▲ 6.1	1,708,088	▲ 10.9	3,924,557	▲ 4.1
6月	1,337,666	▲ 7.5	521,520	▲ 4.2	1,335,861	▲ 7.6	646,227	▲ 1.4	831,514	▲ 4.2	1,704,133	▲ 4.5	3,727,395	3.1
上半期	7,672,133	▲ 9.4	3,284,889	▲ 6.7	7,190,469	▲ 13.6	3,883,105	▲ 2.6	4,431,741	▲ 8.8	9,883,159	▲ 8.7	20,291,923	▲ 4.0
7月	1,653,457	0.5	525,826	▲ 1.3	1,447,645	▲ 3.1	735,735	2.3	883,415	12.5	1,672,377	▲ 16.0	3,783,608	1.5
8月	1,824,331	13.3	526,868	▲ 8.2	1,478,250	1.7	679,275	▲ 0.3	879,553	15.3	1,458,814	▲ 10.8	3,855,430	2.6
9月	1,761,781	12.7	545,214	▲ 2.4	1,459,097	7.8	712,147	6.3	850,382	14.1	1,579,481	▲ 10.4	3,483,250	4.3
10月	1,898,334	20.6	532,471	▲ 7.7	1,369,207	7.4	762,949	▲ 0.8	1,008,856	17.7	1,671,483	▲ 4.0	3,987,696	1.6
11月	1,799,282	28.5	600,813	6.3	1,364,914	13.2	749,315	9.1	908,158	6.8	1,747,312	▲ 3.4	3,931,985	1.0
12月	1,789,849	29.4	541,350	0.7	1,458,871	▲ 6.6	686,234	4.5	934,823	8.7	1,712,814	▲ 1.1	3,738,941	2.3
下半期	10,727,035	16.9	3,272,541	▲ 2.2	8,577,984	2.7	4,325,655	3.4	5,465,187	12.4	9,842,282	▲ 7.8	22,780,910	2.2
合計	18,399,168	4.3	6,557,430	▲ 4.4	15,768,453	▲ 5.4	8,208,760	0.4	9,896,928	1.8	19,725,441	▲ 8.3	43,072,833	▲ 0.5

参考 - 2021年

2021年	北米往航		北米復航		欧州往航		欧州復航		日中往航		日中復航		アジア域内	
1月	1,829,419	18.4	545,276	▲ 2.2	1,487,451	▲ 4.0	615,698	▲ 2.2	655,517	23.5	1,701,125	▲ 15.9	3,603,001	8.8
2月	1,521,066	26.7	520,645	▲ 8.5	1,159,728	71.5	640,919	0.8	677,788	▲ 1.7	1,611,576	111.6	2,965,858	21.0
3月	1,899,100	86.4	625,309	12.1	1,401,049	9.2	735,944	17.1	957,794	20.9	1,803,326	4.6	3,937,590	12.2
4月	1,764,794	32.4	557,959	2.9	1,422,095	24.4	675,731	4.6	852,732	4.8	1,908,944	▲ 2.8	3,844,982	14.1
5月	1,839,253	48.8	554,625	3.3	1,442,062	20.0	705,415	1.2	740,843	▲ 4.3	1,741,040	1.9	4,481,550	14.2
6月	1,667,823	24.7	480,673	▲ 7.8	1,472,858	10.3	660,281	2.2	823,377	▲ 1.0	1,835,513	7.7	4,070,084	9.2
上半期	10,521,455	37.1	3,284,487	▲ 0.0	8,385,243	16.6	4,033,988	3.9	4,708,051	6.2	10,601,524	7.3	22,903,065	12.9
7月	1,813,823	9.7	453,622	▲ 13.7	1,436,079	▲ 0.8	669,036	▲ 9.1	770,972	▲ 12.7	1,784,017	6.7	3,938,124	4.1
8月	1,763,972	▲ 3.3	508,690	▲ 3.4	1,436,834	▲ 2.8	608,124	▲ 10.5	722,041	▲ 17.9	1,793,055	22.9	4,248,573	10.2
9月	1,714,318	▲ 2.7	437,518	▲ 19.7	1,375,673	▲ 5.7	626,892	▲ 12.0	736,992	▲ 13.3	1,754,889	11.1	3,660,986	5.1
10月	1,792,653	▲ 5.6	489,496	▲ 8.1	1,491,050	8.9	634,987	▲ 16.8	841,320	▲ 16.6	1,691,414	1.2	4,176,880	4.7
11月	1,663,709	▲ 7.5	453,197	▲ 24.6	1,427,454	4.6	604,829	▲ 19.3	806,637	▲ 11.2	2,006,696	14.8	4,070,493	3.5
12月	1,936,326	8.2	414,172	▲ 24.6	1,516,995	4.0	568,726	▲ 17.1	832,085	▲ 11.0	1,856,852	8.4	3,907,414	4.5
下半期	10,684,802	▲ 0.4	2,756,695	▲ 15.8	8,684,085	1.2	3,712,594	▲ 14.2	4,710,048	▲ 13.8	10,886,923	10.6	24,002,470	5.4
合計	21,206,257	15.3	6,041,182	▲ 7.9	17,069,328	8.2	7,746,582	▲ 5.6	9,418,099	▲ 4.8	21,488,447	8.9	46,905,535	8.9

おわりに

- 20年上期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中国発貨物を中心に大幅に海上コンテナ荷動きが減少
- その後、欧米を中心にモノの需要が高まり、荷動きが大きく増加
- 港湾や陸上輸送の混乱、需給のひっ迫などを受け、コンテナ運賃が上昇
- コンテナ輸送サービスの供給面においては、傭船料、中古船価も上昇

ご清聴ありがとうございました

公益財団法人 日本海事センター 企画研究部

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル8階

TEL：03-3265-5481

MAIL：planning-research@jpmac.or.jp

<https://www.jpmac.or.jp/index.html>